

バックカントリースキーにおける 雪崩遭難が相次ぎ発生!

外国人2人が死亡

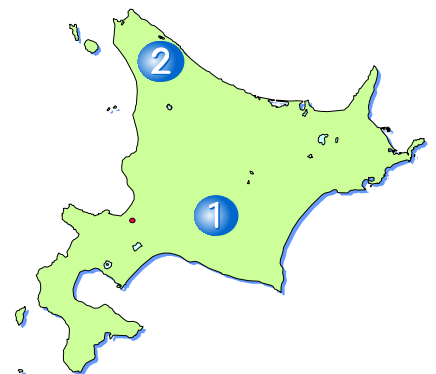
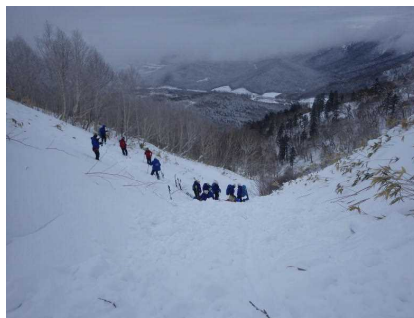
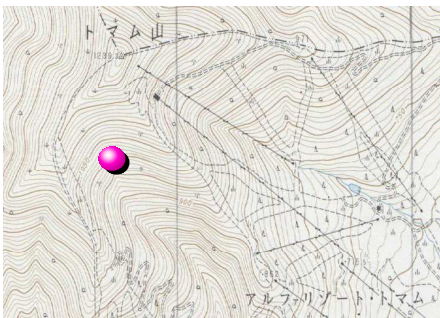


令和2年1月下旬と2月上旬、道内の山岳において、バックカントリースキーをしていた訪日外国人が雪崩に巻き込まれて死亡する遭難が相次いで発生しました。

安全管理が行われていない自然の雪山やスキー場管理区域外は、雪崩のリスクが高いほか、道迷いや立木衝突などによる遭難が多いことから、バックカントリースキー（スノーボード）を目的に入山する場合は、雪山に潜む危険性を理解するとともに、天気予報や山岳地形、雪の状態などを十分把握した上で、危険な場所には絶対に立ち入らないなど慎重な行動に心掛けてください。

遭難発生場所

- 1 1月30日 勇払郡占冠村 トナム山（標高1,239m）
遭難者～フランス国籍30代男性（雪崩埋没により死亡）



⚠ 雪崩に対する警戒

積雪斜面ではどこでも雪崩の危険性があります。

過去に雪崩が起きた場所では、その後も雪崩が起きる可能性が高いほか、沢地形は雪崩が集まるので被害を受けやすいことから入り込むのは危険です。

また、大雪が降った後は表層雪崩が起きやすいので、入山時期を延期するなど十分に注意してください。

- 2 2月1日 ぴんねしりだけ 宗谷郡中頓別町 敏音知岳（標高703m）南東側斜面
遭難者～英国国籍30代男性（雪崩埋没により死亡）

